

平成28年度 1学期 特別活動部マネジメント

柱となる活動	常時活動	4月	5月	6月	7月	到達目標	評価基準 (Check)	成果と課題 Do&Check	二学期への提言 Action
学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成								
重点努力目標	(1)アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何が出来るかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。								
分掌重点目標	他者を思いやる力・他者とうまくやっていく力を育てる 困難に立ち向かい、打ち克つ心を育てる								
みずから学ぶ活動	生徒会だよりだより、ホームページ更新、帰りの放	【応援団】着任式・入学式サプライズ	1年生応援練習(5/6、12)、全校応援練習(5/13)、東部総体激励会(5/31) 縦割り結団式 全校仲間づくり活動	学級生徒会、クラスミーティング 1年生応援団員募集(6/2~7/1)	県中総体激励会(7/14)	・各場面において、問題を自分のこととしてとらえる姿勢を持つことができる。 ・団員が、リーダーとしての自覚を持って取り組むことができる。 ・生徒がお互いに支えあう雰囲気をつくることができる。 ・各場面において、問題を自分のこととしてとらえる姿勢を持つことができる。 ・学校・学級が活性化化する。	(教)学級集団活動(学活、学級学年学校行事)で生徒は生き生きと活動している。(80%) (教)応援団活動は充実している。(85%) (生)私は、生徒会・委員会活動・縦割り活動によって学校が活性化したと感じている。(80%) (教)生徒会活動、専門委員会活動は充実している。(80%) (教)学級集団活動(学活、学級学年学校行事)で生徒は生き生きと活動している。(80%)		
みずから鍛える活動	ペットボトルキャップ、ブルタブ、ベルマークの回収	JRC登録式(/)	縦割り 浦富海岸清掃(5/8)	緑の羽募金(5月下)	愛郷活動(6月下旬)	・ボランティア活動に自主的に参加できる。 ・活動の場において、異学年との交流を積極的に行うことができる。 ・先輩・後輩関係がしっかりしている。 ・部活動開始時間を終学活10分以内に行うことができる。	(生)私は、地域行事や校内ボランティアに参加している。(70%) (教)JRC活動は充実している。(75%) (生)私は、生徒会・委員会活動・縦割り活動によって学校が活性化したと感じている。(80%) (教)縦割り活動は仲間づくりに有効である。(80%) (生)私は、勉強や部活のしんどい場面でも、友達と協力しながら諦めずに頑張っている。(70%) (教)部活動を通して、生徒の心技体を鍛えようと努めた。(75%)		
みずから生きる活動	QU検査の検証・検証結果による取り組み 日々のソーシャルスキルトレーニング(短学活、ふ)		第1回QU検査(5/18)		第1回QU検査の検証	・全教職員がQ-U結果を共通認識できる。 ・その場に適したあいさつや反応をすることができる	(教)Q-Uの研究方法は適切であった。(75%) (教)Q-Uを活用した学級経営に努めている。(76%) (生)私は、地域の人に出会ったらあいさつをしている。(80%)		